

2. 取組を進めるに当たり困難であった事例について

F. その他

①大学院生・研究者等の積極的な受入・派遣等

《医療系》

●三重大学医学系研究科生命医科学専攻

「国際推薦制度による留学生教育の実質化」の事例

(具体的に何を実施し、何が困難であったのか)

異国の地での生活になじめず、精神的に不安定になる留学生がいた。

(苦労したこと、困難であったことの具体的な要因は何だったのか、それにより実施内容がどのような影響を受けていたのか)

相互のコミュニケーション不足や思い込みによる誤解、或いは国民性の違い。当該学生の出身海外協定校での同制度に対する評価に良い影響を及ぼさないと考えられる。

(どのように対応し、どのような結果が得られたのか、また、その結果が望ましいものではなかった場合、あらかじめどのように対応していれば適切であったのか、どうすればより良い結果を導くことができたのか)

留学生と何度も話し合い、悩みを聞き、改善できる点は改善した。国際推薦制度に関する協定校への配布資料の追記や修正を行った。来日前に生活環境、教育・研究環境など、全ての情報を細部にわたって伝えることが重要である。